

保護者のみなさまへお願い

【放課後の過ごし方について】

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本年度より本校では、放課後の過ごし方についての在り方を見直し、これまで学校として示してきた細かなルール（「お金を持ち歩かない」「ゲームセンターには行かない」等）を一律の決まりとして設けるのではなく、「推奨事項」としてお伝えし、最終的な判断は各ご家庭に委ねる形へと変更いたしました。

これには、子どもたちを取り巻く環境や生活スタイルが多様化していることが背景にあります。放課後の過ごし方は、地域の状況やご家庭の考え方によって適切な形が異なるため、学校が一律に制限するのではなく、それぞれのご家庭の価値観を大切にしながら判断していただくことが、子どもたちのよりよい成長につながると考えました。

また、子どもたちが自分で考え、判断し、行動する力を育てるためにも、大人が一方向的に決めるのではなく、ご家庭で話し合う機会を大切にしていきたいと考えております。

なお、放課後に起こるトラブルへの対応につきましても、学校と家庭の役割を整理しております。学校は主に「学校生活の中での指導や人間関係づくり」を担い、ご家庭には「放課後の過ごし方や約束ごとについての指導・見守り」をお願いする形となります。

本校といたしましては、決して関わりを減らすものではなく、学校とご家庭がそれぞれの役割を大切にしながら連携していくことで、子どもたちの健やかな成長を支えていきたいと考えております。

保護者の皆様におかれましては、本趣旨をご理解いただき、ご家庭での見守りや声かけにご協力いただけますと幸いです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【放課後の過ごし方推奨事項】

- ・遊びに行くときは、「だれと・どこへ・なにをしに・何時まで」を伝える。
- ・夕やけチャイムが鳴ったら、家へ帰る。
- ・お金や電子マネーをもって遊びにいかない。
- ・子どもだけでゲームセンターやカラオケ、遠くの場所にはいかない。
- ・ゲーム機、タブレットなど高価なものは外で使わない。

↓命を守るためのルール↓

(学校でも指導しますが、ご家庭での指導が欠かせません)

- ・横断歩道を渡る際は、右・左・右をよく見る。
- ・道路では遊ばず、公園で遊ぶ。
- ・自転車に乗るときは、ヘルメットをかぶる。
- ・階段、駐車場、川の近くなど危険な場所では遊ばない。

もし、何かトラブルがあったら、 お子さんにどう声かけをする？

子どもはよく「うそ」をつくことがあります。それは、**本能的に自分を守るため**といわれています。「怒られたくない」「ばれたくない」という気持ちからうそをつきます。きつく叱るのみになってしまうと、よりその防衛行動は加速するのだそうです。

また、「この行動をしたらどんな事が起きるのか」という予測をするための前頭葉が、小学生は未発達です。**つまり、行動の先の見通しが立たないのが子ども**です。この発達を促す一番の栄養が「**失敗の経験**」といわれています。「**だからやってはいけないのか!**」と子どもが理解することで、次の行動に生かされていきます。

これらの事を踏まえると、何か失敗したときや、トラブルが起きたときに**どう声かけをするのか**、少し見えてくる気がします。

ぜひ、何かの折に一緒に考えてみましょう。



【トラブルの種類と対応】

トラブルの種類 (成長への架け橋)	学校の対応	保護者の対応
公園等でのけんか	聞き取り・指導 必要に応じて保護者へ連絡	聞き取り・指導 お子さんへのサポートなど
友達の家でのトラブル (破損・失礼な行動)	聞き取り・指導 家庭同士をつなぐ	聞き取り・指導 家庭同士での連絡など
金銭トラブル (おごった・おごらされた・お金をもらった等)	聞き取り・指導・各家庭 へ報告・家庭同士をつなぐ (返金や家庭間での謝罪等については、各家庭 でご判断いただきます。)	聞き取り・指導など 返金や家庭間での謝罪等につ いて各家庭で判断
近隣店舗・住宅への いたずら等	聞き取り・指導 各家庭へ報告	聞き取り・指導 お子さんへのサポート 謝罪など
万引き	聞き取り・指導 各家庭へ報告	聞き取り・指導 警察や店舗との連絡 お子さんへのサポートなど
火遊び	聞き取り・指導 各家庭へ報告	聞き取り・指導 関係者との連絡 お子さんへのサポートなど
不審者関係	児童・保護者より情報を受 けたら詳細確認 状況に応じて安全指導や警 察等と連携	詳細確認・警察へ連絡 状況に応じて学校等へ連絡 お子さんへのサポートなど
SNS(LINE)でのトラブル	聞き取り・指導 各家庭へ報告	聞き取り・指導 家庭同士での連絡 お子さんへのサポート スマホ類使用時のルール確 認など